

## 茨城心血管疾患評価研究 Ibaraki Cardiovascular Assessment Study — Coronary Artery Disease(ICAS-CAD) registry 研究について

筑波大学循環器内科では、実地医療として循環器疾患をもつ患者さんの診断や治療を最新の研究成果や医療技術を取り入れながら行っています。しかしながら、医療水準を維持し、さらに高めていくためには、前向きに臨床データを集めて解析したり、後ろ向きにこれまでの診療データを集めて解析することで、疾患の特徴やさまざまな治療法の有効性や課題を明らかにしていく「臨床研究」が不可欠です。

現在、そのような臨床研究の一つとして、以前に入院されていた患者さんのなかで、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)治療を実施された患者さんを対象に「茨城心血管疾患評価研究 Ibaraki Cardiovascular Assessment Study — Coronary Artery Disease(ICAS-CAD) registry 研究」についての調査研究を実施しております。内容については下記をご覧ください。

また、この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております【問い合わせ窓口】までご連絡ください。

### 【研究概要および利用目的】

近年、高齢化や食生活の欧米化に伴って、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）を始めとした循環器疾患は増加傾向にあります。茨城県においては、厚生労働省の統計調査から急性心筋梗塞の死亡率は全国平均よりも著しく高いことが報告されています（男性は全国7番目、女性は全国5番目の高さ）。

虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）の治療として経皮的冠動脈インターベンション(PCI)治療を行うことがあります。経皮的冠動脈インターベンション(PCI)治療は、外科的手術（冠動脈バイパス手術）と比較して体への負担が少ないことが大きなメリットではあり、十数年の間に急速に普及してきました。この研究は、カテーテル治療を実施した患者さんを対象に、診療記録を用いてその後の経過を調査するものです。

### 【取り扱うデータ】

2007年4月から2017年12月までに、筑波大学附属病院循環器内科および関連病院で、経皮的冠動脈インターベンション(PCI)治療を実施した患者さんを対象とします。データは対象患者さんの診療記録より情報を抽出します。調査項目は患者さんの臨床的特徴【年齢、性別、基礎疾患、合併疾患、血液検査結果、心エコー検査結果、冠動脈病変の特徴、カテーテル治療の手技内容、内服薬の種類、不整脈の有無と種類、治療後の経過】です。

### **[個人情報保護の方法]**

本研究では、対象患者さんの個人情報保護されるように、本研究に携わる研究者は割り当てられた登録番号で臨床データを識別します。

### **[研究参加による利益・不利益]**

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはございませんが、調査結果は、今後の循環器疾患の患者さんの診療成績の向上につながります。

不利益・・・診療記録からのデータ抽出のみのため、特にありません。

### **[研究終了後のデータの取り扱いについて]**

最終解析終了後に、すべてのデータは廃棄されます。

### **[研究成果の公表について]**

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合もあなたの個人情報の秘密は厳重に守られ、第三者には絶対にわからないように配慮されます。

### **[データ使用の取り止めについて]**

あなたのデータが本研究に用いられているかどうかを知りたい場合や、用いられている場合において、あなたがデータ使用の取り止めを希望される場合には、いつでも下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、あなたのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合のように、結果を廃棄できない場合があります。

### **[問い合わせ窓口]**

筑波大学 医学医療系 循環器内科

教授 青沼和隆

准教授 佐藤 明

講師 星 智也

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-3143（循環器内科秘書 平日 9:00～17:00）

029-853-3525（筑波大学附属病院防災センター，上記以外の時間帯）

※担当医師または循環器科の医師を呼び出してください。